

シンポジウム

子どもの貧困を考える

～今、わたしたちにできること～

子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることなく、夢や希望をもって成長していくことができる社会をつくるために、今、わたしたちにできることを考えます。

日時

平成31年2月2日(土) 13:30～16:30 (12:30開場)

会場

ちえりあ 札幌市生涯学習センター 講堂 (6階)

(札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10) *地下鉄宮の沢駅下車。地下直結通路徒歩約5分)

対象

関心のある方どなたでも *託児あり(要申込)

定員/費用

先着190名 *定員になり次第、お申込みを締め切らせていただきます。 / 参加費 無料



参加申込

申込期間: 平成30年12月20日(木)～平成31年1月18日(金)

ウェブサイト <https://www.harp.lg.jp/ybw2py6t>

または電話、FAXでお申込みください。

(FAXの申込書は裏面)

携帯電話・スマートフォンからのお申込みはこちらから



申込先 北海道保健福祉部 子ども子育て支援課 TEL 011-206-6328 FAX 011-232-4240

開会

13:30～ 主催者からの挨拶



基調講演

13:40～

『子どもが中心のよりよいまちづくり・地域づくり』

NPO法人 山科醍醐こどものひろば 理事長 村井 琢哉 氏

関西学院大学大学院人間福祉研究科修了。社会福祉士。2013年より山科醍醐こどものひろばの理事長に就任。子どもの貧困に対する実践を中心に年間約70カ所で開催活動や各地の活動のサポートとして講演も行う。公益財団法人あすのば副代表理事、京都子どもセンター理事、京都府子どもの貧困対策検討委員や大学非常勤講師なども務める。内閣府「子供の未来応援国民運動」の発起人。主な著書に「まちの子どもソーシャルワーク」(共著、2018)、「子どもたちとつくる貧困とひとりぼっちのないまち」(同、2013)など。



パネル
ディスカッション

14:55～

『地域のつながりで子どもの未来を支える』

【コーディネーター】 北海道大学大学院教育学研究院 教授

松本 伊智朗

【パネリスト】 NPO法人 陽だまりの家

古山 明美 氏

麻生キッチンりあん

西本 香奈江 氏

札幌市子どもコーディネーター

沢村 紀子 氏

【コメンテーター】 NPO法人 山科醍醐こどものひろば 理事長

村井 琢哉 氏

主催

北海道・札幌市・北海道大学大学院教育学研究院

共催

北海道新聞社

後援

北海道教育委員会・北海道経済連合会・北海道経済同友会

(一社)北海道商工会議所連合会・北海道商工会連合会・北海道中小企業団体中央会

(社福)北海道社会福祉協議会・(公財)北海道民生委員児童委員連盟

シンポジウム 子どもの貧困を考える

～ 今、わたしたちにできること ～

定員 190 名

定員になり次第
受付終了

平成 31 年 **2 月 2 日** [土] 13:30～16:30
ちえりあ 札幌市生涯学習センター 講堂 (6 階)

申込者	ふりがな 氏名
	ご所属など
	連絡先 (電話またはメールアドレス)

同伴者 1	ふりがな 氏名	ご所属など
同伴者 2	ふりがな 氏名	ご所属など
同伴者 3	ふりがな 氏名	ご所属など

● 託児をご利用の場合、下記もご記載ください。 ※希望者多数のときは、スペースの関係上お預かりできない場合があります。

託児 1	ふりがな 氏名	年齢 歳 か月	男	女
託児 2	ふりがな 氏名	年齢 歳 か月	男	女
託児 3	ふりがな 氏名	年齢 歳 か月	男	女

備考 (車椅子などサポートが必要な場合は、ご記載ください)

❖ ご記入いただいた内容は、本シンポジウム以外の目的では使用いたしません。